

2011年
12月議会

一般質問

日本共産党

16日(金)、19日(月)、20日(火)です



青梅市議会12月定例会が12月6日(火)から開かれています。22日(木)が最終日です。
一般質問は24人中20人が通告し、田中みずほ議員は13番目、藤野ひろえ議員は15番目です。
3日間の日程で行なわれます。傍聴におでかけください。

田中みずほ議員 (13番目)

1. 農林業を初めとした青梅の産業を守り抜くために —TPP参加阻止のイニシアチブの発揮を—

TPPは関税をゼロにし、農業や医療、金融サービスや知的財産、環境など日本の産業が大打撃となり、JAや医師会など多くの国民が反対しています。TPPについて市長の見解、野田首相の交渉参加の表明について、TPP参加阻止への行動を求めて質問します。



2. 差し押さえ債権取り立て請求訴訟により、市税回収と滞納者の生活再建を

市税等の滞納処分を受けた市民の中に、過払い金債権を有している多重債務者がいます。羽村市や福生市などで、この過払い金を裁判により回収する取り組みがすすめられています。青梅市でも同様の取り組みを求めて質問します。

3. 保健室と特別支援学級の充実を

養護教諭の複数配置や、情緒障害学級にエアコンの設置などを求めて質問します。

藤野ひろえ議員 (15番目)

1. まちづくりの諸問題を問う

市長の所信表明演説や市の来年度予算編成方針、市政総合世論調査をふまえて、厳しい社会経済環境の下で、まちづくりについて不要不急の開発は見直すよう求めて質問します。

- (1) 青梅インター周辺開発整備の見直しを
- (2) 根ヶ布長淵線の道路整備について
- (3) ケミコン跡地に保健所、市民ホール建設等の検討について



2. 市民の安心、安全を優先し、くらし・福祉・教育の充実を

政府は社会保障と税の一体改革のなかで、医療、年金、介護、保育などを改悪し、消費税増税をねらい、国民は安心して暮らせない状況です。青梅市が市民生活を守る立場で願いを実現するよう求めて質問します。

- (1) 国民健康保険など、市民の命、健康を守る施策の充実について
- (2) 奨学金制度の充実、通学費、修学旅行補助について
- (3) 児童館建設で子育て応援を
- (4) 放射能測定器貸し出しや、給食食材の実施等、放射能汚染対策について

